

2011 年度後期金曜 1 限 (C33)

「比較文化論」

担当教員：東賢太郎

第 1 回 イン트로ダクションー異文化理解とは？

教員自己紹介

東 賢太郎 (あずま けんたろう)

名古屋大学大学院文学研究科准教授

1976 年生まれ、愛知県名古屋市出身

専門：文化人類学、東南アジア地域研究

調査地域：フィリピン共和国カピス州口ハス市および首都マニラ市

講義内容説明 (別紙を参照)

- ① フィリピン共和国について、その文化の多様性と日本との関係を中心に学ぶ
- ② フィリピンについて学ぶことを通して、異文化を知ることの喜びと困難を知る

講義の進め方 (別紙を参照)

- ・ 各回の内容
- ・ 配布資料 (レジメ)
- ・ リアクションペーパーについて

⇒毎回講義終了時 10 分ほど。(a)講義内容、(b)質問・コメント、(c)クイズ

- ・成績評価について

⇒レポート or 論述試験。詳細は後日連絡

異文化理解について

- ・異文化理解の根源的な不可能性

⇒決して正しくはなく、主観的で部分的でしかない

- ・異文化理解の可能性

⇒現実に存在する人々、その置かれた状況、直面する問題を伝えることと知ること

リアクションペーパー

- ・講義内容
- ・質問・コメント
- ・クイズ：フィリピンについて思い浮かぶイメージ

参考文献

リサ・ゴウ&鄭 暎恵（1999）『私という旅—ジェンダーとレイシズムを超えて』青土社